

Ⅲ. 食品健康影響評価

参照に挙げた資料を用いて、農薬「エトフェンプロックス」の食品健康影響評価を実施した。

¹⁴C で標識したエトフェンプロックスのラットにおける動物体内運命試験の結果、エトフェンプロックスは、投与3~5時間後に C_{max} に達した。用量の違いによる C_{max} 及び AUC の変化、排泄率から計算された吸収率のデータ等から、低用量でより高い吸収率が得られるものと考えられた。吸収率は最大でも51%であった。投与後120時間で94.4~98.8% TAR が尿及び糞中に排泄され、主要排泄経路は糞中であった。体内では、脂肪、副腎、膵臓等に比較的多く分布し、脂肪からの減衰は、他の組織よりやや遅かった。また、妊娠ラットに経口投与されたエトフェンプロックスは、乳汁中に移行することが確認された。糞及び組織中の主要成分は親化合物であったが、尿及び胆汁中に親化合物は存在しなかった。主要代謝物はⅡ及びⅢであった。

イヌ及びマウスにおける動物体内運命試験の結果、主要排泄経路は糞中であり、主要代謝経路にラットとの大きな差は認められなかった。

¹⁴C で標識したエトフェンプロックスの植物体内運命試験の結果、植物体内での主要成分は、親化合物及び代謝物Ⅳであり、Ⅳは茎葉散布された水稻の玄米中に7.1~12.2% TRR (0.009~0.079 mg/kg)、稲わら中に21.5~22.3% TRR (0.952~9.03 mg/kg) 存在した。エトフェンプロックス及び代謝物Ⅳを分析対象化合物として作物残留試験が実施された。エトフェンプロックスの最高値は、最終散布14日後に収穫した温州みかん(果皮)の11.4 mg/kg、代謝物Ⅳの最高値は、最終散布28日後に収穫したなつみかん(果皮)の1.11 mg/kgであった。また、魚介類におけるエトフェンプロックスの最大推定残留値は、0.713 mg/kgであった。

各種毒性試験結果から、エトフェンプロックス投与による影響は、主に肝臓(肝細胞肥大等)、腎臓(尿細管好塩基性変化等)、甲状腺(微小ろ胞増加等、ラット)及び血液(貧血等、マウス)に認められた。神経毒性、繁殖能に対する影響、催奇形性及び遺伝毒性は認められなかった。

発がん性試験において、ラットの雌で甲状腺ろ胞細胞腺腫が認められたが、遺伝毒性試験がすべて陰性であったこと及びメカニズム試験の結果より、腫瘍の発生機序は遺伝毒性メカニズムとは考え難く、評価にあたり閾値を設定することは可能であると考えられた。

植物における主要代謝物Ⅳの動物体内での生成や体内動態については、十分に解明されていない。しかしながら、ラットを用いた動物体内運命試験及び90日間亜急性毒性試験の結果から、代謝物Ⅳの動物体内における代謝及び排泄は速やかであり、蓄積性は極めて低く、また、毒性は親化合物と同等又はそれ以下であると判断された。このため、食品中の暴露評価対象物質をエトフェンプロックス(親化合物)及び代謝物Ⅳと設定することにより、食品を介したヒトへの安全性は確保されることが考えられた。

各試験の無毒性量等は表32に示されている。

食品安全委員会は、各試験で得られた無毒性量の最小値が、マウスを用いた2年間

発がん性試験の 3.1 mg/kg 体重/日であったので、これを根拠として安全係数 100 で除した 0.031 mg/kg 体重/日を一日摂取許容量 (ADI) と設定した。

ADI	0.031 mg/kg 体重/日
(ADI 設定根拠資料)	発がん性試験
(動物種)	マウス
(期間)	2 年間
(投与方法)	混餌
(無毒性量)	3.1 mg/kg 体重/日
(安全係数)	100

なお、今回の食品健康影響評価の対象は、魚介類及び畜産物についてであり、適用拡大にあたり食品健康影響評価を要請する場合は、代謝物IVに関する作物残留試験、動物体内における生成を示す試験等の追加資料が必要である。

暴露量については、暫定基準値の見直しを行う際に確認することとする。

表 32 各試験における無毒性量

動物種	試験	投与量 (mg/kg 体重/日)	無毒性量(mg/kg 体重/日) ¹⁾		
			JMPR	農薬抄録	食品安全委員会
ラット	90日間 亜急性 毒性試験 ①	0, 50, 300, 1,800, 10,800 ppm 雄: 0, 3.3, 20, 120, 734 雌: 0, 3.8, 23, 142, 820	雄: 20 雌: 23 雌雄: 体重増加抑制 等	雄: 20 雌: 23 雄: AST、ALT 及び T.Chol 増加等 雌: 肝比重量増加	雄: 20 雌: 142 雄: AST、ALT 及び T.Chol 増加等 雌: 体重増加抑制等
	90日間 亜急性 毒性試験 ②	0, 50, 300, 1,800, 10,800 ppm 雄: 0, 3.7, 22.7, 136, 970 雌: 0, 3.9, 23.5, 143, 819		雄: 22.7 雌: 23.5 雄: 体重増加抑制等 雌: T ₃ 及び T ₄ 増加 等	雄: 22.7 雌: 23.5 雄: 体重増加抑制等 雌: T ₃ 及び T ₄ 増加 等
	90日間 亜急性 神経毒性 試験	0, 2,500, 5,000, 10,000 ppm 雄: 0, 149, 299, 604 雌: 0, 174, 350, 690		雄: - 雌: 350 雄: 肝比重量増加 雌: 肝絶対及び比重量 増加 (神経毒性は認め られない)	雄: - 雌: 350 雄: 肝比重量増加 雌: 肝絶対及び比重量 増加 (神経毒性は認め られない)
	2年間 慢性毒性 /発がん 性併合 試験	0, 30, 100, 700, 4,900 ppm 雄: 0, 1.1, 3.7, 25.5, 187 雌: 0, 1.4, 4.8, 34.3, 249	雄: 3.7 雌: 4.8 雌雄: 摂餌量減少、 甲状腺重量増 加等 雌で甲状腺腫瘍	雄: 3.7 雌: 34.3 雄: 変異肝細胞巢 (好酸性/空胞) 等 雌: 体重増加抑制等	雄: 3.7 雌: 34.3 雄: 変異肝細胞巢 (好酸性/空胞) 等 雌: 体重増加抑制等
	2世代 繁殖試験	0, 100, 700, 4,900 ppm P雄: 0, 7.1, 49.9, 347 P雌: 0, 8.1, 57.5, 420 F ₁ 雄: 0, 8.4, 58.3, 430 F ₁ 雌: 0, 9.1, 64.4, 450	親動物 P雄: 49.9 P雌: 8.1 F ₁ 雄: 58.3 F ₁ 雌: 9.1 児動物 P雄: 7.1 P雌: 8.1 F ₁ 雄: 8.4	親動物 P雄: 49.9 P雌: 8.1 F ₁ 雄: 58.3 F ₁ 雌: 9.1 児動物 P雄: 7.1 P雌: 8.1 F ₁ 雄: 8.4	親動物 P雄: 49.9 P雌: 8.1 F ₁ 雄: 58.3 F ₁ 雌: 9.1 児動物 P雄: 7.1 P雌: 8.1 F ₁ 雄: 8.4

動物種	試験	投与量 (mg/kg 体重/日)	無毒性量(mg/kg 体重/日) ¹⁾		
			JMPR	農薬抄録	食品安全委員会
			F ₁ 雌：9.1 親動物 雄：肝及び腎補正重量増加等 雌：腎集合管囊胞等 児動物：肝補正重量増加 (繁殖能に対する影響は認められない)	F ₁ 雌：9.1 親動物 雄：肝及び腎補正重量増加等 雌：腎集合管囊胞等 児動物：肝補正重量増加 (繁殖能に対する影響は認められない)	F ₁ 雌：9.1 親動物 雄：肝及び腎補正重量増加等 雌：腎集合管囊胞等 児動物：肝補正重量増加 (繁殖能に対する影響は認められない)
	発生毒性試験	0、12.5、250、5,000	母動物：250 胎児・児動物：5,000 母動物：流涎、口周辺部の赤褐色の着色 胎児：毒性所見なし (催奇形性は認められない)	母動物：250 胎児・児動物：5,000 母動物：流涎、口周辺部の赤褐色の着色等 胎児：毒性所見なし (催奇形性は認められない)	母動物：250 胎児・児動物：5,000 母動物：流涎、口周辺部の赤褐色の着色等 胎児：毒性所見なし (催奇形性は認められない)
	発達神経毒性試験	0、250、700、2,100 ppm ----- 0、28.4、79.2、238	/	母動物及び児動物：79.2 母動物：立ち上がり回数増加 児動物：自発運動量の低下等	母動物及び児動物：79.2 母動物：立ち上がり回数増加 児動物：自発運動量の低下等
マウス	90日間亜急性毒性試験	0、50、500、3,000、15,000 ppm ----- 雄：0、6.1、60、375、1,980 雌：0、6.9、71、390、2,190	雄：60 雌：71 雌雄：臨床症状、死亡率増加等	雄：375 雌：390 雌雄：体重増加抑制等	雄：375 雌：390 雌雄：体重増加抑制等
	2年間発がん性試験	0、30、100、700、4,900 ppm ----- 雄：0、3.1、10.4、75.2、547 雌：0、3.6、11.7、80.9、616	雄：3.1 雌：3.6 雌雄：腎尿細管好塩基性変化 (発がん性は認められない)	雄：3.1 雌：3.6 雌雄：腎尿細管好塩基性変化 (発がん性は認められない)	雄：3.1 雌：3.6 雌雄：腎尿細管好塩基性変化 (発がん性は認められない)

動物種	試験	投与量 (mg/kg 体重/日)	無毒性量(mg/kg 体重/日) ¹⁾		
			JMPR	農薬抄録	食品安全委員会
ウサギ	発生毒性 試験①	0、10、50、250	母動物：10 胎児：250 母動物：体重増加抑制 胎児：毒性所見なし (催奇形性は認められない)	母動物：10 胎児：50 母動物：体重増加抑制 胎児：早期胚死亡増加傾向 (催奇形性は認められない)	母動物：10 胎児：50 母動物：体重増加抑制 胎児：早期胚死亡増加傾向 (催奇形性は認められない)
	発生毒性 試験②	0、30、100、300	/	母動物及び胎児：100 母動物：体重増加抑制等 胎児：低体重 (催奇形性は認められない)	母動物及び胎児：100 母動物：体重増加抑制等 胎児：低体重 (催奇形性は認められない)
イヌ	1年間 慢性毒性 試験	0、100、1,000、 10,000 ppm 雄：0、3.46、 33.4、352 雌：0、3.17、 32.2、339	雄：33.4 雌：32.2 雌雄：TP 及び Alb 減少、ALP 増加	雄：33.4 雌：32.2 雌雄：TP 及び Alb 減少、ALP 増加 等	雄：33.4 雌：32.2 雌雄：TP 及び Alb 減少、ALP 増加 等
ADI			NOAEL：3.1 SF：100 ADI：0.03	NOAEL：3.1 SF：100 ADI：0.031	NOAEL：3.1 SF：100 ADI：0.031
ADI 設定根拠資料			マウス2年間発がん 性試験	マウス2年間発がん 性試験	マウス2年間発がん 性試験

注) NOAEL：無毒性量 SF：安全係数 ADI：一日摂取許容量

1)：最小毒性量で認められた毒性所見を記した。

—：無毒性量は設定できなかった。

<別紙1：代謝物/分解物等略称>

記号	略称	化学名
II	脱エチル体 (DE)	2-(4-ヒドロキシフェニル)-2-メチルプロピル 3-フェノキシベンジル エーテル
III	水酸化体 (4' OH)	2-(4-エトキシフェニル)-2-メチルプロピル 3-(4-ヒドロキシフェノキシ)ベンジル エーテル
IV	酸化体-1 (α -CO)	2-(4-エトキシフェニル)-2-メチルプロピル 3-フェノキシベンゾエート
V	脱フェニル体 (DP)	2-(4-エトキシフェニル)-2-メチルプロピル 3-ヒドロキシベンジル エーテル
VII	— (m-PB-alc)	3-フェノキシベンジルアルコール
VIII	— (m-PB-acid)	3-フェノキシ安息香酸
IX	— (PENa)	2-(4-エトキシフェニル)-2-メチルプロパン-1-オール
X	— (OH-Palc)	2-(4-ヒドロキシフェニル)-2-メチルプロパン-1-オール
X I	— (EPMP)	2-(4-エトキシフェニル)-2-メチルプロピオン酸
X II	(4'-OH PBacid)	3-(4-ヒドロキシフェノキシ)安息香酸

<別紙2：検査値等略称>

略称	名称
ACh	アセチルコリン
ai	有効成分量
Alb	アルブミン
ALP	アルカリホスファターゼ
ALT	アラニンアミノトランスフェラーゼ [=グルタミン酸ピルビン酸トランスアミナーゼ (GPT)]
APTT	活性化部分トロンボプラスチン時間
AST	アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ [=グルタミン酸オキサロ酢酸トランスアミナーゼ (GOT)]
AUC	薬物濃度曲線下面積
BCF	生物濃縮係数
BUN	血液尿素窒素
C _{max}	最高濃度
DMF	<i>N,N</i> -ジメチルホルムアミド
FOB	機能観察総合検査
Glob	グロブリン
Glu	グルコース (血糖)
Hb	ヘモグロビン量 (血色素量)
Ht	ヘマトクリット値
LC ₅₀	半数致死濃度
LD ₅₀	半数致死量
LDH	乳酸脱水素酵素
Lym	リンパ球
MC	メチルセルロース
MCHC	平均赤血球血色素濃度
MCV	平均赤血球容積
Neu	好中球
PCV	血中血球容積
PEC	環境中予測濃度
PHI	最終使用から収穫までの日数
PT	プロトロンビン時間
RBC	赤血球数
T _{1/2}	消失半減期
T ₃	トリヨードサイロニン
T ₄	サイロキシン

略称	名称
TAR	総投与（処理）放射能
T.Chol	総コレステロール
T _{max}	最高濃度到達時間
TP	総蛋白質
TRR	総残留放射能
TSH	甲状腺刺激ホルモン
UDGPT	ウリジン二リン酸グルクロニルトランスフェラーゼ
WBC	白血球数

<別紙3：作物残留試験成績>

作物名 (分析部位) 実施年度	試験圃 場数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	残留値(mg/kg)				(参考)	
					エトフェンプロックス				代謝物IV	
					公的分析機関		社内分析機関		社内分析機関	
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
水稻① (玄米) 1984年度	1	1.4 ^{WP} /箱 + 900 ^G	2	114	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	1			98	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
水稻② (玄米) 1987年度	1	100 ^{WP}	1	37	<0.01	<0.01	0.005	0.005		
	1			37	<0.01	<0.01	0.005	0.005		
水稻③ (玄米) 1987年度	1	100 ^{WP}	1	37	<0.01	<0.01	0.005	0.005		
	1			37	<0.01	<0.01	0.005	0.005		
水稻④ (玄米) 1988年度	1	200 ^{EC} ×3	3	14	0.07	0.06	0.107	0.106		
				21	0.05	0.04	0.068	0.068		
				28	0.03	0.03	0.042	0.042		
	1			14	0.03	0.02	0.037	0.036		
				21	0.04	0.04	0.065	0.064		
				28	0.02	0.02	0.017	0.016		
水稻⑤ (玄米) 1988年度	1	200 ^{OS}	3	43	<0.01	<0.01	<0.04	<0.04		
	1			42	<0.01	<0.01	<0.04	<0.04		
水稻⑥ (玄米) 1989年度	1	400 ^{EC} ×3	3	21	<0.01	<0.01	0.06	0.06		
				28	<0.01	<0.01	0.03	0.03		
				21	0.03	0.03	0.04	0.04		
				28	0.03	0.03	0.03	0.02		
水稻⑦ (玄米) 1989年度	1	300 ^{OS} ×3	3	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
	1			21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
水稻⑧ (玄米) 1990年度	1	1,000 ^{EC} ×3	3	21			0.010	0.010		
	1			23			0.016	0.015		
水稻⑨ (玄米) 1991年度	1	300 ^{SC} ×3	3	14	0.03	0.02	0.023	0.023		
				21	0.02	0.02	0.015	0.014		
				28	0.01	0.01	0.006	0.006		
				14	0.03	0.03	0.025	0.024		
	1			21	0.01	0.01	0.010	0.010		
				28	0.01	0.01	0.006	0.006		
水稻⑩ (玄米) 1993年度	1	125 ^{EC} ×3	3	21			0.022	0.022		
	1			21			0.020	0.020		
水稻⑪ (玄米) 1993年度	1	300 ^{MC} ×3	3	21	0.05	0.04	0.048	0.046		
				28	0.03	0.03	0.030	0.030		
				21	0.03	0.02	0.019	0.019		
				28	<0.01	<0.01	0.007	0.006		
水稻⑫ (玄米) 1994年度	1	250 ^{EC} ×3	3	21			0.046	0.046		
	1			21			0.015	0.015		
	1			21			0.068	0.065		
	1			21			0.024	0.022		

作物名 (分析部位) 実施年度	試験 圃場 数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	残留値(mg/kg)				(参考)	
					エトフェンプロックス				代謝物IV	
					公的分析機関		社内分析機関		社内分析機関	
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
水稲⑬ (玄米) 1994年度	1	97.5~	1	22	<0.01	<0.01	0.007	0.007		
	1	100MC		27	<0.01	<0.01	0.006	0.005		
	1	100MC	1	22	<0.01	<0.01	0.011	0.010		
	1			27	<0.01	<0.01	0.020	0.018		
水稲⑭ (玄米) 1995年度	1	129WP ×3	3	21			0.018	0.016		
	1			21			0.010	0.009		
	1			21			0.012	0.011		
	1			21			0.017	0.016		
水稲⑮ (玄米) 1995年度	1	200DL ×3	3	7	<0.01	<0.01	0.007	0.006		
	1			14	<0.01	<0.01	0.006	0.006		
				7	<0.01	<0.01	<0.004	<0.004		
	1			14	<0.01	<0.01	0.004	0.004		
水稲⑯ (玄米) 1998年度	1	100MC	1	27			<0.01	<0.01		
	1			28			<0.01	<0.01		
	1			27			<0.01	<0.01		
	1			28			<0.01	<0.01		
水稲⑰ (玄米) 1998年度	1	167MC ×3	3	21			0.01	0.01		
	1			21			<0.01	<0.01		
	1			21			0.02	0.02		
	1			21			0.04	0.04		
水稲⑱ (玄米) 2000年度	1	100MC ×3	3	21	0.02	0.02	0.02	0.02		
	1			21	0.01	0.01	0.02	0.02		
水稲⑲ (玄米) 2003、2004年度	1	100EC ×3	3	21	<0.01	<0.01	0.01	0.01		
	1			28	<0.01	<0.01	0.01	0.01		
				21	<0.01	<0.01	0.01	0.01		
	1			28	0.01	0.01	0.01	0.01		
水稲① (稲わら) 1984年度	1	1.4WP/箱 + 900G	2	114	0.39	0.39	0.48	0.48	0.08	0.08
	1			98	0.02	0.02	0.04	0.04	<0.01	<0.01
水稲② (稲わら) 1987年度	1	100WP	1	37	0.46	0.44	0.30	0.29		
	1			37	0.36	0.34	0.49	0.48		
水稲③ (稲わら) 1987年度	1	100WP	1	37	0.37	0.36	0.33	0.32		
	1			37	0.60	0.60	0.62	0.60		
水稲④ (稲わら) 1988年度	1	200EC ×3	3	14	3.08	3.00	2.94	2.90		
				21	2.48	2.36	1.39	1.38		
				28	0.83	0.82	0.98	0.96		
	1			14	7.20	7.11	5.87	5.83		
				21	5.77	5.51	3.97	3.96		
				28	1.86	1.82	2.36	2.35		
水稲⑤ (稲わら) 1988年度	1	200OS	3	43	0.07	0.06	0.09	0.08		
	1			42	0.06	0.06	3.60	3.56		

作物名 (分析部位) 実施年度	試験 圃場 数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHH (日)	残留値(mg/kg)				(参考)	
					エトフェンプロックス				代謝物IV	
					公的分析機関		社内分析機関		社内分析機関	
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
水稻⑥ (稲わら) 1989年度	1	400 ^{EC} ×3	3	21	3.42	3.34	5.96	5.85		
				28	1.62	1.61	2.56	2.50		
	1			21	3.93	3.92	4.09	4.06		
				28	2.31	2.22	2.76	2.76		
水稻⑦ (稲わら) 1989年度	1	300 ^{OS} ×3	3	21	0.37	0.36				
	1			21	1.35	1.33				
水稻⑨ (稲わら) 1991年度	1	300 ^{SC} ×3	3	14	1.52	1.48	2.89	2.86		
				21	1.11	1.06	1.02	0.98		
				28	1.09	1.06	0.60	0.60		
	1			14	3.94	3.91	2.72	2.68		
				21	1.79	1.73	1.68	1.66		
				28	1.25	1.20	0.81	0.80		
水稻⑩ (稲わら) 1993年度	1	125 ^{EC} ×3	3	21			1.90	1.82		
	1			21			4.56	4.31		
水稻⑪ (稲わら) 1993年度	1	300 ^{MC} ×3	3	21	6.22	5.99	7.13	7.06		
				28	4.71	4.61	4.88	4.78		
	1			21	2.60	2.55	5.03	4.96		
				28	1.05	1.02	1.73	1.64		
水稻⑫ (稲わら) 1994年度	1	250 ^{EC} ×3	3	21			3.41	3.18		
	1			21			2.86	2.86		
	1			21			5.20	5.06		
	1			21			2.88	2.64		
水稻⑬ (稲わら) 1994年度	1	97.5~ 100 ^{MC}	1	22	0.77	0.76	1.07	1.05		
	1			27	0.22	0.21	0.50	0.47		
	1	100 ^{MC}	1	22	0.74	0.72	1.90	1.76		
				27	0.91	0.90	1.56	1.38		
水稻⑭ (稲わら) 1995年度	1	129 ^{WP} ×3	3	21			2.66	2.56		
	1			21			1.97	1.96		
	1			21			1.53	1.50		
	1			21			3.39	3.34		
水稻⑮ (稲わら) 1995年度	1	200 ^{DL} ×3	3	7	3.02	2.98	2.77	2.68		
				14	1.62	1.62	3.93	3.83		
	1			7	1.58	1.58	1.60	1.58		
				14	3.02	3.00	1.78	1.76		
水稻⑯ (稲わら) 1998年度	1	100 ^{MC}	1	27			0.94	0.93		
	1			28			0.67	0.65		
	1			27			0.58	0.57		
	1			28			1.00	0.98		
水稻⑰ (稲わら) 1998年度	1	167 ^{MC} ×3	3	21			2.27	2.22		
	1			21			2.38	2.28		
	1			21			2.40	2.34		
	1			21			4.34	4.22		

作物名 (分析部位) 実施年度	試験 圃場 数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	残留値(mg/kg)				(参考)	
					エトフェンプロックス				代謝物IV	
					公的分析機関		社内分析機関		社内分析機関	
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
水稻⑩ (稲わら) 2000年度	1	100 ^{MC} ×3	3	21	5.00	4.98	5.05	4.96		
	1			21	1.96	1.94	1.76	1.72		
水稻⑨ (稲わら) 2003、2004 年度	1	100 ^{EC} ×3	3	21	2.28	2.20	1.17	1.16		
	1			28	3.66	3.58	4.46	4.46		
				21	4.1	4.0	4.6	4.4		
				28	3.6	3.4	3.4	3.4		
小麦 (玄麦) 1987年度	1	200 ^{EC} ×2	2	14	0.01	0.01	0.023	0.022		
	1			21	<0.01	<0.01	0.006	0.006		
				28	<0.01	<0.01	0.005	0.005		
				21	0.06	0.06	0.058	0.058		
小麦 (玄麦) 2005年度	1	100 ^{MC} ×2	2	14	0.02	0.02	0.03	0.03		
	1			21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				30	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
とうもろこし (未成熟子実) 1984年度	1	500 ^{EC} ×4	2	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	1			14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				7	0.06	0.06	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
とうもろこし (未成熟子実) 1984年度	1	500 ^{EC} ×4	2	7	<0.01	<0.01	0.02	0.02	<0.01	<0.01
	1			14	<0.01	<0.01	0.04	0.04	<0.01	<0.01
				7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
だいず (乾燥子実) 1983、1984年度	1	300 ^{EC} ×2	2	14	<0.01	<0.01	0.01	0.01	<0.01	<0.01
だいず (乾燥子実) 1992年度	1	205~ 260 ^{EC} ×2	2	14	<0.01	<0.01	0.005	0.005		
	1			15	0.03	0.03	0.035	0.034		
だいず (乾燥子実) 1994年度	1	100 ^{EC} ×2	2	14			<0.004	<0.004		
	1			14			<0.004	<0.004		
だいず (乾燥子実) 1994年度	1	300 ^{MC} ×2	2	14	<0.01	<0.01	0.015	0.014		
だいず (乾燥子実) 1995年度	1	300 ^{MC} ×2	2	14	0.006	0.006	0.007	0.006		
	1			14	0.062	0.060	0.028	0.025		
だいず (乾燥子実) 1997年度	1	300 ^{MC} ×2	2	14 21			0.013 0.009	0.012 0.008		

作物名 (分析部位) 実施年度	試験 圃場 数	使用量 (g ai/ha)	回 数 (回)	PHI (日)	残留値(mg/kg)				(参考)	
					エトフェンプロックス				代謝物IV	
					公的分析機関		社内分析機関		社内分析機関	
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
だいず (乾燥子実) 1997年度	1	300 ^{EC} ×2	2	14	/	/	0.016	0.014	/	/
				21	/	/	0.006	0.006	/	/
だいず (乾燥子実) 1998年度	1	400 ^{MC} ×2	2	14	0.02	0.02	0.01	0.01	/	/
				21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	/	/
	1			14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	/	/
				21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	/	/
だいず (乾燥子実) 1998年度	1	200 ^{MC} ×2	2	14	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	/	/
				21	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	/	/
	1			14	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	/	/
				21	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	/	/
あずき (乾燥子実) 1996年度	1	180~ 200 ^{EC}	1	14	/	/	0.004	0.004	/	/
				14	/	/	0.004	0.004	/	/
あずき (乾燥子実) 1996年度	1	238~ 250 ^{EC}	1	14	/	/	0.004	0.004	/	/
				14	/	/	0.004	0.004	/	/
らっかせい (子実) 2004年度	1	313~ 400 ^{EC} ×3	3	14	/	/	0.01	0.01	/	/
				21	/	/	<0.01	<0.01	/	/
				14	/	/	<0.01	<0.01	/	/
ばれいしょ (塊茎) 1987年度	1	300~ 600 ^{EC} ×3	3	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	/	/
				14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	/	/
ばれいしょ (塊茎) 2001年度	1	400~ 600 ^{MC} ×3	3	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	1			7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
14		<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01			
さといも (塊茎) 1992年度	1	500 ^{EC} ×3	3	14	<0.005	<0.005	0.004	0.004	/	/
				14	<0.005	<0.005	<0.004	<0.004	/	/
みずいも (塊茎) 2004年度	1	300 ^{EC} ×3	3	14	<0.005	<0.005	/	/	/	/
				21	<0.005	<0.005	/	/	/	/
				28	<0.005	<0.005	/	/	/	/
	1			14	0.007	0.007	/	/	/	/
21		<0.005	<0.005	/	/	/	/			
かんしょ (塊根) 1990年度	1	300 ^{EC} ×3	3	7	<0.01	<0.01	<0.004	<0.004	/	/
				14	<0.01	<0.01	<0.004	<0.004	/	/
				21	<0.01	<0.01	<0.004	<0.004	/	/
	1			7	<0.01	<0.01	<0.004	<0.004	/	/
				14	<0.01	<0.01	<0.004	<0.004	/	/
21	<0.01	<0.01	<0.004	<0.004	/	/				

作物名 (分析部位) 実施年度	試験 圃場 数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	残留値(mg/kg)				(参考)	
					エトフェンプロックス				代謝物IV	
					公的分析機関		社内分析機関		社内分析機関	
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
やまいも (塊茎) 1989年度	1	200 ^{DL} ×2	2	23	<0.03	<0.03	/	/	/	/
やまいも (塊茎) 1992年度	1	500~ 700 ^{EC} ×3	3	14	<0.005	<0.005	<0.004	<0.004	/	/
	1			14	<0.005	<0.005	<0.004	<0.004	/	/
やまいも (塊茎) 1997年度	1	400 ^{EC}	1	22	/	/	<0.005	<0.005	/	/
	1			14	/	/	<0.005	<0.005	/	/
	1			21	/	/	<0.005	<0.005	/	/
やまいも (塊茎) 1997年度	1	700 ^{EC}	1	22	/	/	<0.005	<0.005	/	/
	1			14	/	/	<0.005	<0.005	/	/
	1			21	/	/	<0.005	<0.005	/	/
てんさい (根部) 1984年度	1	300 ^{EC}	3	14	<0.01	<0.01	0.01	0.01	<0.01	<0.01
				21	<0.01	<0.01	0.01	0.01	<0.01	<0.01
				28	<0.01	<0.01	0.01	0.01	<0.01	<0.01
	1			14	0.04	0.04	0.10	0.10	<0.01	<0.01
				21	0.03	0.03	0.08	0.08	<0.01	<0.01
				28	0.04	0.04	0.03	0.03	<0.01	<0.01
てんさい (根部) 2000年度	1	300~ 400 ^{MC} ×3	3	14	0.04	0.04	0.038	0.036	/	/
				21	0.08	0.08	0.076	0.076	/	/
	1			14	0.02	0.02	0.037	0.036	/	/
				21	0.07	0.06	0.029	0.028	/	/
てんさい (根部) 2000年度	1	400 ^{MC} ×3	3	14	0.05	0.05	0.054	0.051	/	/
				21	0.02	0.02	0.020	0.019	/	/
	1			14	<0.01	<0.01	0.007	0.006	/	/
				21	0.01	0.01	0.011	0.010	/	/
さとうきび (茎) 1992年度	1	1,350 ^G ×3	3 ^a	45	<0.005	<0.005	0.005	0.005	<0.01	<0.01
	1			45	<0.005	<0.005	0.009	0.007	<0.01	<0.01
だいこん (根部) 1983年度	1	300 ^{EC} ×3	3	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	1			21	0.02	0.02	0.02	0.02	0.04	0.04
だいこん (根部) 1986年度	1	300 ^{EC} ×3	3	21	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.02
				30	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	1			23	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				28	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
だいこん (根部) 1987年度	1	300 ^{EC} ×3	3	21	<0.01	<0.01	<0.005	<0.005	/	/
				30	0.01	0.01	<0.005	<0.005	/	/
	1			21	0.03	0.03	0.043	0.042	/	/
				30	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	/	/
だいこん (根部) 2004年度	1	300~ 360 ^{MC} ×3	3	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	/	/
だいこん (葉部) 1983年度	1	300 ^{EC} ×3	3	21	0.48	0.46	0.54	0.54	0.14	0.14
	1			21	4.16	4.09	2.44	2.42	0.24	0.24

作物名 (分析部位) 実施年度	試験圃 場数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	残留値(mg/kg)				(参考)	
					エトフェンプロックス				代謝物IV	
					公的分析機関		社内分析機関		社内分析機関	
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
だいこん (葉部) 1986年度	1	300 ^{EC} ×3	3	21	0.07	0.07	0.01	0.01	<0.01	<0.01
				30	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	1			23	0.03	0.03	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				28	0.01	0.01	0.01	0.01	<0.01	<0.01
だいこん (葉部) 1987年度	1	300 ^{EC} ×3	3	21	0.03	0.03	0.043	0.042	/	/
				30	0.03	0.03	<0.005	<0.005	/	/
	1			21	1.16	1.12	0.948	0.942	/	/
				30	0.29	0.29	0.197	0.195	/	/
だいこん (葉部) 2004年度	1	300~ 360 ^{MC} ×3	3	21	1.44	1.40	3.20	3.14	/	/
はくさい (茎葉) 1983年度	1	400~ 800 ^{EC} ×3	3	7	0.08	0.08	0.12	0.12	<0.01	<0.01
				14	0.02	0.02	0.02	0.02	<0.01	<0.01
				22	0.01	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	1			7	0.15	0.14	0.18	0.18	0.01	0.01
				14	0.02	0.02	0.03	0.03	<0.01	<0.01
				21	0.07	0.07	0.04	0.04	<0.01	<0.01
はくさい (茎葉) 1983年度	1	600 ^{MC} ×3	3	7	1.56	1.48	2.32	2.32	/	/
				14	1.22	1.20	1.19	1.16	/	/
	1			7	2.02	2.02	2.04	2.00	/	/
				14	1.80	1.79	0.67	0.66	/	/
キャベツ (葉球) 1983年度	1	400~ 500 ^{EC} ×3	3	3	0.32	0.31	0.06	0.06	<0.01	<0.01
				7	0.16	0.15	0.04	0.04	<0.01	<0.01
				14	0.09	0.09	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	1			3	0.21	0.20	0.04	0.04	<0.01	<0.01
				7	0.06	0.06	0.02	0.02	<0.01	<0.01
				14	0.08	0.08	0.01	0.01	<0.01	<0.01
キャベツ (葉球) 1991年度	1	200 ^{EC} ×3	3	3	/	/	0.025	0.024	/	/
				7	/	/	0.010	0.010	/	/
				14	/	/	<0.004	<0.004	/	/
	1			3	/	/	0.203	0.192	/	/
				7	/	/	0.145	0.142	/	/
				14	/	/	0.077	0.076	/	/
キャベツ (葉球) 1991年度	1	400 ^{EC} ×3	3	3	/	/	0.021	0.019	/	/
				7	/	/	0.008	0.008	/	/
				14	/	/	<0.004	<0.004	/	/
	1			3	/	/	0.399	0.394	/	/
				7	/	/	0.324	0.320	/	/
				14	/	/	0.122	0.113	/	/
キャベツ (葉球) 2001年度	1	300~ 416 ^{MC} ×3	3	3	0.08	0.08	0.06	0.06	/	/
				7	<0.02	<0.02	0.04	0.04	/	/
				14	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	/	/
	1			3	0.20	0.20	0.14	0.12	/	/
				7	0.26	0.26	0.03	0.03	/	/
				14	0.03	0.02	<0.02	<0.02	/	/

作物名 (分析部位) 実施年度	試験 圃場 数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	残留値(mg/kg)				(参考)	
					エトフェンプロックス				代謝物IV	
					公的分析機関		社内分析機関		社内分析機関	
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
畑わさび (花及び花茎) 2005年度	1	450 ^G ×2	2	14	0.2	0.2	/	/	/	/
	1			21	<0.1	<0.1				
	1	14		<0.1	<0.1					
		21		<0.1	<0.1					
畑わさび (葉(含葉柄)) 2005年度	1	450 ^G ×2	2	14	0.2	0.2	/	/	/	/
	1			21	<0.1	<0.1				
	1	14		0.2	0.2					
		21		<0.1	<0.1					
畑わさび (根及び根茎) 2005年度	1	450 ^G ×2	2	14	<0.2	<0.2	/	/	/	/
	1			21	<0.2	<0.2				
	1	14		0.5	0.5					
		21		<0.2	<0.2					
レタス (茎葉) 1991年度	1	300 ^{EC} ×3	3	14	0.79	0.75	0.110	0.108	/	/
	1			14	0.05	0.05	0.048	0.047		
ふき (茎) 1992、1993年度	1	400 ^{EC} ×3	3	14	0.58	0.56	0.43	0.42	/	/
	1			14	0.43	0.41	0.53	0.51		
ねぎ(葉ねぎ) (茎葉) 1989年度	1	300 ^{EC} ×2	2	21	0.31	0.30	0.151	0.150	/	/
	1			21	1.04	1.00	0.779	0.766		
ねぎ(根深ねぎ) (茎葉) 1989、1991年度	1	300 ^{EC} ×2	2	21	/	/	0.449	0.437	/	/
	1			21	/	/	0.186	0.179		
せり (茎葉) 2005、2006年度	1	300~ 600 ^{EC} ×2	2	35	0.3	0.3	/	/	/	/
	1			35	0.2	0.2				
トマト (果実) 1991年度	1	500~ 600 ^{EC} ×2	2	1	0.42	0.42	0.556	0.555	/	/
				3	0.61	0.60	0.625	0.609		
				7	0.62	0.60	0.438	0.432		
	1			1	0.25	0.25	0.238	0.233		
				3	0.25	0.24	0.299	0.264		
				7	0.23	0.23	0.195	0.190		
ピーマン (果実) 1991年度	1	400~ 600 ^{EC} ×3	3	1	1.68	1.64	1.75	1.71	/	/
				3	1.64	1.58	1.54	1.47		
				7	0.90	0.87	0.980	0.922		
	1			1	2.72	2.62	2.73	2.66		
				3	2.45	2.40	2.35	2.28		
				7	1.73	1.72	1.75	1.68		
なす (果実) 1984年度	1	400 ^{EC} ×3	3	1	0.48	0.48	0.64	0.64	<0.01	<0.01
				3	0.42	0.41	0.46	0.46	<0.01	<0.01
				7	0.14	0.14	0.20	0.20	<0.01	<0.01
	1			1	0.17	0.16	0.14	0.14	<0.01	<0.01
				3	0.09	0.09	0.08	0.08	<0.01	<0.01
				7	0.02	0.02	0.01	0.01	<0.01	<0.01

作物名 (分析部位) 実施年度	試験 圃場 数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	残留値(mg/kg)				(参考)	
					エトフェンプロックス				代謝物IV	
					公的分析機関		社内分析機関		社内分析機関	
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
なす (果実) 2000年度	1	366~ 600 ^{MC} ×3	3	1	0.23	0.23	0.262	0.258	/	/
				3	0.11	0.11	0.209	0.208		
				7	0.01	0.01	0.024	0.024		
	1			1	0.08	0.08	0.06	0.06		
				3	<0.02	<0.02	0.04	0.04		
				7	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02		
きゅうり (果実) 1984年度	1	500 ^{EC} ×3	3	1	0.13	0.12	0.13	0.13	<0.01	<0.01
				3	0.04	0.04	0.06	0.06	<0.01	<0.01
				7	0.03	0.03	0.05	0.05	<0.01	<0.01
	1			1	0.13	0.13	0.18	0.18	<0.01	<0.01
				3	0.04	0.04	0.06	0.06	<0.01	<0.01
				7	<0.01	<0.01	0.01	0.01	<0.01	<0.01
きゅうり (果実) 2000年度	1	441~ 600 ^{MC} ×3	3	1	0.16	0.16	0.163	0.162	/	/
				3	0.09	0.09	0.108	0.108		
				7	0.02	0.02	0.027	0.026		
	1			1	0.55	0.54	0.518	0.510		
				3	0.37	0.36	0.304	0.296		
				7	0.09	0.08	0.067	0.066		
すいか (果実) 1991年度	1	190~ 400 ^{EC}	3	3	<0.01	<0.01	0.004	0.004	/	/
				7	<0.01	<0.01	<0.004	<0.004		
				1	3	<0.01	<0.01	<0.004		
	7				<0.01	<0.01	<0.004	<0.004		
	7				<0.01	<0.01	<0.004	<0.004		
	メロン (果実) 1990年度			1	800 ^{EC} ×4	4	3	0.01		
7		0.02	0.02				0.039	0.039		
1		3	0.01				0.01	0.021	0.021	
		7	<0.01	<0.01			0.018	0.018		
		7	<0.01	<0.01			0.018	0.018		
にがうり (果実) 2004年度		1	200~ 404 ^{EC} ×3	3			3	/	/	0.30
	7				/	/	0.39	0.38		
	14				/	/	0.17	0.16		
	1	3			/	/	0.11	0.11		
		7			/	/	0.05	0.05		
		14			/	/	<0.01	<0.01		
オクラ (果実) 1996年度	1	400 ^{EC} ×3	3	1	1.12	1.10	0.979	0.936	/	/
				3	0.55	0.54	0.388	0.367		
				7	0.05	0.05	0.018	0.016		
	1			1	0.16	0.16	0.120	0.113		
				3	0.06	0.06	0.090	0.086		
				7	0.03	0.03	0.037	0.036		
しょうが (根茎) 1993年度	1	300 ^{EC} ×3	3	7	<0.01	<0.01	0.008	0.008	/	/
				14	<0.01	<0.01	0.004	0.004		
				1	7	0.02	0.02	0.054		
	14				<0.01	<0.01	0.004	0.004		
	14				<0.01	<0.01	0.004	0.004		
	しょうが (根茎) 1996年度			1	400 ^{EC}	1	7	/		
14		/	/				<0.005	<0.005		
1		7	/				/	0.007	0.007	
		7	/	/			0.007	0.007		
		14	/	/			0.006	0.006		

作物名 (分析部位) 実施年度	試験 圃場 数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	残留値(mg/kg)				(参考)		
					エトフェンプロックス				代謝物IV		
					公的分析機関		社内分析機関		社内分析機関		
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	
しょうが (根茎) 1996年度	1	200 ^{EC}	1	7	/	/	<0.005	<0.005	/	/	
	14			<0.005			<0.005				
	1			7	/	/	<0.005	<0.005	/	/	
	14			<0.005			<0.005				
葉しょうが (塊茎及び茎) 2004年度	1	400 ^{EC} ×3	3	7	/	/	0.34	0.34	/	/	
	14			0.12			0.12				
	21			0.09			0.08				
	1				7	/	/	0.20	0.20	/	/
					14			0.13	0.13		
					21			0.10	0.10		
さやえんどう (さや) 1989年度	1	300 ^{EC} ×2	2	1	0.85	0.84	0.41	0.40	/	/	
				7	0.05	0.04	0.21	0.20			
				14	<0.02	<0.02	0.11	0.11			
				21	<0.02	<0.02	0.03	0.03			
	1				1	0.79	0.79	1.06	1.05	/	/
					7	0.27	0.26	0.46	0.46		
					14	0.16	0.16	0.23	0.22		
					21	<0.02	<0.02	0.07	0.07		
さやいんげん (さや) 1990年度	1	300 ^{EC} ×2	2	7	0.84	0.82	0.874	0.860	/	/	
				14	0.16	0.16	0.224	0.214			
				21	<0.01	<0.01	0.010	0.010			
	1				7	0.19	0.18	0.226	0.218	/	/
					14	0.03	0.03	0.036	0.036		
					21	0.01	0.01	0.022	0.021		
えだまめ (さや) 1983、1984年度	1	300 ^{EC} ×2	2	21	0.27	0.26	0.33	0.33	/	/	
	1			21	0.20	0.19	0.11	0.10			
えだまめ (さや) 1995年度	1	300 ^{MC} ×2	2	14	0.41	0.40	0.497	0.460	0.04	0.04	
				21	0.48	0.48	0.743	0.720	0.04	0.04	
				28	0.24	0.24	0.369	0.356	0.03	0.02	
	1				14	0.66	0.66	1.18	1.15	0.04	0.04
					21	0.32	0.31	0.651	0.607	0.03	0.03
					28	0.12	0.12	0.206	0.188	0.03	0.02
うど (軟化茎葉) 2003年度	1	600 ^{EC} ×2	2	195	/	/	<0.02	<0.02	/	/	
				202			<0.02	<0.02			
	1				199	/	/	<0.02	<0.02	/	/
					206			<0.02	<0.02		
エンサイ (茎葉) 2003、2004年度	1	250 ^{EC}	2	14	0.32	0.32	/	/	/	/	
				21	<0.05	<0.05					
	1				14	0.65	0.64	/	/	/	/
					21	0.10	0.10				
さといも葉柄 (葉柄) 2005年度	1	400 ^{EC} ×3	3	7	0.3	0.3	/	/	/	/	
				14	0.1	0.1					
				21	<0.1	<0.1					
	1				7	0.3	0.2	/	/	/	/
					14	0.2	0.2				
					21	<0.1	<0.1				

作物名 (分析部位) 実施年度	試験 圃場 数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	残留値(mg/kg)				(参考)	
					エトフェンプロックス				代謝物IV	
					公的分析機関		社内分析機関		社内分析機関	
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
未成熟ささげ (さや) 2004年度	1	500 ^{EC} ×2	2	1	2.8	2.8	/	/	/	/
				3	1.8	1.8				
				7	0.6	0.6				
	1			1	1.9	1.9				
				3	1.0	1.0				
				7	0.1	0.1				
モロヘイヤ (茎葉) 2004年度	1	408~	1	14	/	/	0.65	0.65	/	/
	1	440 ^{EC}		14	/	/	0.16	0.16	/	/
やまいも (むかご) (可食部) 2004年度	1	600 ^{EC} ×3	3	14	2.43	2.40	/	/	/	/
				21	1.42	1.37				
				30	0.40	0.40				
	1			14	1.58	1.58				
				21	0.75	0.75				
				30	0.21	0.20				
れんこん (根茎) 1993年度	1	600 ^G ×3	3	14	<0.01	<0.01	0.008	0.008	/	/
				21	<0.01	<0.01	0.005	0.004		
				28	—	—	<0.004	<0.004		
	1			14	<0.01	<0.01	0.010	0.010		
				21	<0.01	<0.01	0.004	0.004		
				28	<0.01	<0.01	<0.004	<0.004		
れんこん (根茎) 1993年度	1	200 ^{DL} ×3	3	14	<0.01	<0.01	<0.004	<0.004	/	/
				21	<0.01	<0.01	<0.004	<0.004		
				28	—	—	<0.004	<0.004		
	1			14	<0.01	<0.01	<0.004	<0.004		
				21	<0.01	<0.01	<0.004	<0.004		
				28	<0.01	<0.01	<0.004	<0.004		
温州みかん (果肉) 1986年度	1	1,000~ 1,600 ^{EC} ×3	3	14	<0.01	<0.01	0.03	0.03	<0.01	<0.01
				20	<0.01	<0.01	0.02	0.02	<0.01	<0.01
				28	<0.01	<0.01	0.01	0.01	<0.01	<0.01
	1			14	<0.01	<0.01	0.01	0.01	<0.01	<0.01
				21	<0.01	<0.01	0.02	0.02	<0.01	<0.01
				28	<0.01	<0.01	0.01	0.01	<0.01	<0.01
温州みかん (果皮) 1986年度	1	1,000~ 1,600 ^{EC} ×3	3	14	7.18	6.90	6.47	6.46	0.53	0.52
				20	6.57	6.43	4.11	4.06	0.27	0.27
				28	5.24	5.04	3.16	3.14	0.27	0.27
	1			14	11.4	11.4	8.30	8.28	0.71	0.69
				21	9.64	9.35	7.28	7.13	0.52	0.52
				28	7.60	7.46	6.08	5.98	0.56	0.56
なつみかん (果肉) 1983年度	1	1,000~ 1,200 ^{EC} ×3	3	14	0.02	0.02	0.05	0.05	0.02	0.02
				21	0.01	0.01	0.03	0.02	0.01	0.01
				28	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	1			14	0.01	0.01	0.01	0.01	<0.01	<0.01
				21	0.03	0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				28	0.01	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

作物名 (分析部位) 実施年度	試験 圃場 数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	残留値(mg/kg)				(参考)	
					エトフェンプロックス				代謝物IV	
					公的分析機関		社内分析機関		社内分析機関	
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
なつみかん (果皮) 1983年度	1	1,000~ 1,200 ^{EC} ×3	3	14	4.17	4.06	2.97	2.93	0.88	0.87
				21	4.01	3.82	2.97	2.96	1.08	1.06
				28	4.21	4.04	3.15	3.08	1.11	1.08
	1			14	3.18	3.10	2.43	2.39	0.93	0.90
				21	3.28	3.11	2.05	2.02	0.82	0.81
				28	2.78	2.77	2.06	2.00	0.88	0.88
なつみかん (果実全体) 1983年度	1	1,000~ 1,200 ^{EC} ×3	3	14	/	1.03	/	/	/	/
				21	/	0.92	/	/	/	/
				28	/	1.05	/	/	/	/
	1			14	/	1.00	/	/	/	/
				21	/	1.01	/	/	/	/
				28	/	0.89	/	/	/	/
かぼす (果実) 2006年度	1	1,000 ^{EC} ×3	3	14	/	/	2.72	2.70	/	/
				21	/	/	1.98	1.92	/	/
				28	/	/	0.98	0.95	/	/
すだち (果実) 2006年度	1	1,280 ^{EC} ×3	3	14	/	/	1.00	0.98	/	/
				21	/	/	0.76	0.75	/	/
				28	/	/	0.84	0.80	/	/
りんご (果実) 1983年度	1	1,000~ 1,200 ^{WP} ×3	3	14	0.41	0.39	0.23	0.22	0.26	0.25
				21	0.28	0.28	0.16	0.16	0.22	0.21
				28	0.31	0.29	0.16	0.16	0.26	0.25
	1			14	0.82	0.80	0.55	0.54	0.21	0.21
				21	0.70	0.70	0.58	0.58	0.23	0.22
				28	0.59	0.56	0.32	0.32	0.15	0.15
なし (果実) 1983年度	1	800~ 1,000 ^{WP} ×3	3	14	0.23	0.23	0.72	0.72	0.20	0.20
				21	0.22	0.21	0.35	0.34	0.19	0.19
				27	0.22	0.22	0.32	0.32	0.17	0.17
	1			41	0.20	0.19	0.27	0.26	0.14	0.13
				14	0.53	0.52	0.63	0.62	0.14	0.14
				21	0.49	0.46	0.50	0.50	0.09	0.09
1	28	0.30	0.30	0.34	0.34	0.08	0.08			
	42	0.17	0.16	0.11	0.11	0.04	0.04			
	もも (果実) 1984年度	1	800 ^{WP} ×3	3	14	<0.01	<0.01	0.02	0.02	0.01
21					<0.01	<0.01	0.01	0.01	0.02	0.02
28					<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.02	0.02
1		14			<0.01	<0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
		21			0.03	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01
		28			0.02	0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
かき (果実) 1984年度	1	1,000 ^{WP} ×3	3	42	0.45	0.44	0.55	0.54	0.07	0.07
	1			42	0.57	0.57	0.62	0.62	0.10	0.10
茶 (荒茶) 1983年度	1	400 ^{EC} ×2	2	21	1.49	1.49	1.68	1.62	0.12	0.12
	1			21	3.84	3.62	3.98	3.98	0.16	0.16
茶 (浸出液) 1983年度	1	400 ^{EC} ×2	2	21	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	/	/
	1			21	0.02	0.02	0.02	0.02	/	/

作物名 (分析部位) 実施年度	試験 圃場 数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	残留値(mg/kg)				(参考)	
					エトフェンプロックス				代謝物IV	
					公的分析機関		社内分析機関		社内分析機関	
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
水稲 (青刈り) 1994年度	1	97.5~ 100 ^{MC}	1	1	/	/	2.68	2.59	/	/
				2	/	/	1.55	1.47	/	/
				8	/	/	0.91	0.85	/	/
				15	/	/	0.56	0.55	/	/
	1	100 ^{MC}	1	1	/	/	2.57	2.39	/	/
				6	/	/	0.97	0.95	/	/
				13	/	/	0.17	0.16	/	/
				2	/	/	1.78	1.66	/	/
1	100 ^{MC}	1	8	/	/	0.66	0.60	/	/	
			15	/	/	0.84	0.76	/	/	
			1	/	/	4.47	4.04	/	/	
			6	/	/	2.73	2.60	/	/	
水稲 (青刈り) 1998年度	1	100 ^{MC}	1	13	/	/	0.82	0.80	/	/
				1	/	/	2.02	1.98	/	/
				8	/	/	0.89	0.84	/	/
	15			/	/	0.10	0.09	/	/	
	1			/	/	2.16	2.04	/	/	
	6			/	/	1.26	1.22	/	/	
	1	100 ^{MC}	1	14	/	/	0.30	0.28	/	/
				21	/	/	0.25	0.24	/	/
				1	/	/	0.97	0.91	/	/
	1	100 ^{MC}	1	8	/	/	0.32	0.31	/	/
				15	/	/	0.30	0.30	/	/
				1	/	/	3.14	3.12	/	/
1	100 ^{EC}	1	6	/	/	1.02	0.99	/	/	
			14	/	/	0.43	0.42	/	/	
			21	/	/	0.22	0.22	/	/	
1	100 ^{EC}	1	1	/	/	1.57	1.56	/	/	
			6	/	/	0.89	0.88	/	/	
			14	/	/	0.44	0.44	/	/	
				21	/	/	0.24	0.23	/	/

注)・試験には WP : 水和剤、G : 粒剤、EC : 乳剤、DL : 粉剤 DL、OS : 油剤、
MC : マイクロカプセル剤、SC : フロアブル を用いた。
・すべてのデータが定量限界未満の場合は定量限界値の平均に<を付して記載した。
・代謝物IVの残留値はエトフェンプロックスに換算して記載した。
換算係数は、エトフェンプロックス/代謝物IV=0.964

<参照>

- 1 食品安全委員会に対し意見を求められた案件 / 清涼飲料水 :
(URL : <http://www.fsc.go.jp/hyouka/hy/hy-uke-bunsyo-20.pdf>)
- 2 7月1日付けで厚生労働大臣から食品安全委員会委員長へ食品健康影響評価を依頼した事項 : 第3回食品安全委員会資料
(URL : <http://www.fsc.go.jp/iinkai/i-dai3/dai3kai-kouseisyousiryoku.pdf>)
- 3 7月1日に厚生労働省より意見の聴取要請のあった、清涼飲料水の規格基準の改正について : 第1回食品安全委員会農薬専門調査会資料6
(URL : <http://www.fsc.go.jp/senmon/nouyaku/n-dai1/nou1-siryoku6.pdf>)
- 4 第1回食品安全委員会農薬専門調査会
(URL : <http://www.fsc.go.jp/senmon/nouyaku/n-dai1/index.html>)
- 5 第6回食品安全委員会農薬専門調査会
(URL : <http://www.fsc.go.jp/senmon/nouyaku/n-dai6/index.html>)
- 6 第22回食品安全委員会農薬専門調査会
(URL : <http://www.fsc.go.jp/senmon/nouyaku/n-dai22/index.html>)
- 7 食品、添加物等の規格基準 (昭和34年厚生省告示第370号) の一部を改正する件 (平成17年11月29日付、厚生労働省告示第499号)
- 8 農薬抄録「エトフェンプロックス」 (殺虫剤) (平成21年1月26日改訂) : 三井化学株式会社、一部公表予定
- 9 JMPR: Etofenprox (Pesticide residues in food : evaluation Part II Toxicology) (1993)
- 10 食品健康影響評価について
(URL : <http://www.fsc.go.jp/hyouka/hy/hy-uke-etofenprox-210217.pdf>)
- 11 エトフェンプロックスの魚介類における最大推定残留値に係る資料
- 12 第274回食品安全委員会
(URL : <http://www.fsc.go.jp/iinkai/i-dai274/index.html>)
- 13 第21回食品安全委員会農薬専門調査会確認評価第二部会
(URL : http://www.fsc.go.jp/senmon/nouyaku/kakunin2_dai21/index.html)
- 14 第53回食品安全委員会農薬専門調査会幹事会
(URL : http://www.fsc.go.jp/senmon/nouyaku/kanjikai_dai53/index.html)
- 15 第25回食品安全委員会農薬専門調査会確認評価第二部会
(URL : http://www.fsc.go.jp/senmon/nouyaku/kakunin2_dai25/index.html)
- 16 第55回食品安全委員会農薬専門調査会幹事会
(URL : http://www.fsc.go.jp/senmon/nouyaku/kanjikai_dai55/index.html)